



関係人口
サミット

in DOGO ONSEN
関係人口サミット in 道後温泉



2022 **1/10** (月・祝) 13:00 ~ 16:30

期予約
入場無料
先着150名

場所 松山市立子規記念博物館 講堂 (愛媛県松山市道後公園1-30)
道後温泉駅、道後公園駅より徒歩約5分 ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

登壇者
モデレーター
 指出一正 / 片岡大介 / 周防苑子 / 田中佑典 / 木藤亮太 / 日野 藍 / 山澤 満
ソトコト編集長 城崎温泉【三木屋】志賀直哉ゆかりの宿代表取締役 ハコミドリ、VOID A PART代表 生活藝人/文化交流プロデューサー 株式会社ホーホフ代表取締役 INDIGO フリーランスデザイナー 道後温泉跨るまちづくり推進協議会 副会長

主催: 未来へつなく道後まちづくり実行委員会 企画制作: 株式会社ワコールアートセンター、株式会社SOTOKOTO ONLINE

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更となる場合があります。 ※道後温泉本館は工事により見え方が異なります。



2021年度から2023年度までの3年間にわたる道後温泉地区の新たな活性化事業「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」では、2021年度の活動テーマを「地熱づくり」として、関係人口の構築に取り組んでいます。



公式HP



2022 **1/10** (月・祝) 13:00~16:30

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと。そんな「関係人口の構築」に取り組むキーマンを全国から招いたサミットを道後温泉で開催します。あたらしいつながりを生み、地域に変化をもたらす「関係人口」。地域づくりのキーワードをめぐる最先端の議論を道後温泉から発信します。

登壇者

指出一正

さしでかずまさ
ソトコト編集長

モデレーター



未来をつくるSDGsマガジン『ソトコト』編集長。1969年群馬県生まれ。鳥根県「しまこアカデミー」メイン講師、静岡県「地域のお店」デザイン表彰審査委員長、奈良県「SUSTAINABLE DESIGN SCHOOL」メイン講師、和歌山県田辺市「たなこアカデミー」メイン講師、秋田県湯沢市「ゆざわローカルアカデミー」メイン講師、福島県郡山市「こおりやま街の学校」校長など、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「わくわく地方生活実現会議」、「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」委員。内閣官房「水循環の推進に関する有識者会議」委員。環境省「SDGs人材育成研修事業検討委員会」委員。BS朝日「/ハントタッチ SDGsはじめてます」監修。経済産業省「2025年大阪・関西万博日本館」クリエイター。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。趣味はフライフィッシング。

片岡 大介

かたおかだいすけ
城崎温泉【三木屋】志賀直哉ゆかりの宿 代表取締役



1981年生まれ。志賀直哉の小説「城の崎にて」が生まれた旅館、三木屋10代目主人。同志社大学卒業。京都でのホテル勤務を経て2007年より家業である旅館業に就く。家業の他に、文学で町おこしをするNPO法人本と温泉や城崎案内人など、歴史を踏まえた上で町の魅力を現代に届ける活動を行っている。

周防 苑子

すおうそのこ
ハコモドリ、VOID A PART代表



1988年 滋賀の生花店に生まれ、幼い頃から植物に囲まれた日々を送る。学生時代を京都、会社員時代を東京で過ごし、2014年夏 帰郷。
同年11月、ソロプロジェクトとして『ハコモドリ』設立。
家屋解体時の廃ガラスと、生花市や山々で採取した草花を掛けあわせたプロダクトを制作。
2016年春、滋賀県彦根湖畔にてアトリエ『VOID A PART』を構え、新たな展開を進める。
2021年春には、カフェメンバーとして『きみと珈琲』を新たに迎え、店舗をリニューアル。
現在も地方でのアトリエカフェの立ち位置を模索・形成中。

田中 佑典

たなかゆうすけ
生活藝人/文化交流プロデューサー



福井県福井市出身。
アジアにおける台湾の重要性に着目し、2011年から台日間での企画やプロデュース、執筆、コーディネーターとして台日系カルチャーを発信。また地元福井からインパウンド/地方創生にも尽力し、地域に携わり“ゆるさと”をつくる旅の形として『微住@』を提唱。コロナ禍の現在、福井県中を全て徒歩で横断する旅を『微遍路』と題し、約950km全市町村を完歩。台湾式の中国語の語学教室「カルチャーゴガク」主宰。2018年度ロハスデザイン大賞受賞。雑誌『ソトコト』にて『生活芸人田中の現在アジア微住中』を連載中。そのほか福井県のテレビや雑誌、ラジオにて活動中!

木藤 亮太

きとりょうた
株式会社ホーホウ代表取締役



1975年福岡出身。13年7月よりテナントミックスサポートマネージャーに就任。“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取組み、約4年で25を超える新規出店、企業誘致等を実現。商店街再生の好事例として国や各地から大きな評価を得ている。17年、自らが育った福岡県那珂川市に拠点を移し「事業間連携専門官」に就任。18年、株式会社ホーホウを設立しJR博多南駅前ビル「ナカイチ」を地域コミュニティを育む場として再生、19年には39年の幕を閉じた老舗喫茶店を承継するプロジェクトを立ち上げ、株式会社バントタッチを設立。那珂川市に「喫茶キャプテン」を継承し、話題となっている。

日野 藍

ひのあい
INDIGO フリーランスデザイナー



松山市生まれ西条市育ち。大学時代に地元での起業を志し、新卒入社した東京・大阪の広告制作会社でディレクター業を務める。2014年Uターンし、西条市役所に入庁。広報専門職員として、広報紙・SNS・LINEなど行政からのあらゆる広報物の企画制作や取材、シティプロモーション「LOVE SAIJO」の策定や運用に携わるほか、地域と人とのコミュニケーションをテーマに個人で勉強会やイベントなども主催。2020年個人事業を開始。2021年独立。フリーのグラフィックデザイナーとして、西条市広報アドバイザーや民間企業のブランディングを企画から行う。趣味は登山で、好きなものはコーヒーとエスニック料理。

山澤 満

やまざわみつる
道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 副会長



1967年松山市道後生まれ。愛光中学・高校、上智大学法学部卒業。キッコーマン株式会社(現キッコーマン食品株式会社)に入社、セールスプロモーションなど手掛ける。同社退職後、家業である合名会社山澤商店(明治19年創業)に入社、六代目代表。SSI認定 酒師、焼酎 酒師。実は地元の閉鎖性が苦手でありずれば海外で仕事をと考えていたが家庭の事情によりターン。離れて分かった道後の良さをいかに伝えていくのか未だに悩む日々。家族は、俳句甲子園の運営に携わる中で知り合った妻と三人の子ども。趣味は落語(落語立川流Cコース、道後isaniwa亭席亭)

予約申込方法

入場無料

先着150名

右記の申込専用サイト
「peatix(ピーティックス)」
より詳細をご確認の上
お申し込みください▶



<https://kankeijinkodogo.peatix.com>

お問合せ先

主催: 未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会 / 企画制作: 株式会社ワコールアートセンター、株式会社SOTOKOTO ONLINE